

大学院生・ポスドクを中心とした

第33回コンソーシアム人材セミナ

化学の力量で生命科学に挑戦 合言葉は青年の情熱!

平成29年1月23日(月) キャリア支援セミナー 17:00~18:30(質疑応答含む)

会場: 徳島大学蔵本キャンパス 藤井節郎記念医科学センター 2階204室





理化学研究所 ライフサイエンス 技術基盤研究 センター

講師:標識化学研究チームチームリーダー 土居 久志氏

私達の生命に関わる分子、水、アミノ酸、糖、タンパク質、病気を治す薬など。私達の体の中で活動する分子を見てみたい。この疑問に応えうる技術として陽電子放射断層画像撮影法(PET)があります。私達は、これらの分子の体内動態を観察するために、身体を透過する強い光を出す目印(陽電子放出短寿命放射性核種、11Cや18Fなど)を目的の分子に短時間で結合させる標識化学研究(PETプローブ化研究)を行っています。

■申込方法:1.氏名 2.所属 3.学年(職名)を明記して、下記、申込先までメールにてご連絡ください。

■申込締切:1月20日(金)※当日参加も可能です

■お申し込み・お問い合わせ先■

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業【未来を拓く地方協奏プラットフォーム】 徳島大学事務局: hiraku@tokushima-u.ac.jp / Tel088-656-9759

【講演概要】

「自らが合成した化合物を直ちにヒトに投与する」。究極の緊張感。 しかし、ここには、ものづくりの化学者にしか味わえない誇りと喜び があります。

陽電子放射断層画像撮影法(PET)は、生命や病気に関わる分子が、体内のどこにどれだけあるかを画像化する技術です。PETにおける私達化学者の役割は、放射性の分子(PET分子プローブ)を開発することです。

本講演では、PET分子プローブの化学研究を通じて、次代を担う若い皆様に本分野の魅力をお伝えし、職業選択・経験の参考になれば幸いです。

【講師略歴】

1971年生まれ(大阪)。名古屋大学大学院修了。スウェーデン・ウプサラ大学PETセンターおよび岐阜大学大学院医学系研究科での研究活動を経て、2005年より、理研の分子イメージング研究に参画。現在、理研ライフサイエンス技術基盤研究センター標識化学研究チームのチームリーダー。2016年度より、徳島大学大学院医科学教育部の客員教授を務めている。

【理化学研究所】

1917年(大正6年)創設。日本で唯一の自然科学の総合研究所。 物理学、工学、化学、計算科学、生物学、医科学などに及ぶ広い 分野で研究を進めている。

■申込方法:1.氏名 2.所属 3.学年(職名)を明記して、下記、

申込先までメールにてご連絡ください。

■申込締切:1月20日(金)※当日参加も可能です

■お申し込み・お問い合わせ先■

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業【未来を拓く地方協奏プラットフォーム】 徳島大学事務局:hiraku@tokushima-u.ac.jp / TeL088-656-9759